

熊本県立装飾古墳館

研 究 紀 要

第 16 集

-
- ・ 装飾古墳の葬送儀礼に関する一考察一附 熊本県装飾古墳一
覧一..... 1
装飾古墳館 坂口圭太郎・村上光治
 - ・ 新発見の線刻壁画一香川県観音寺市所在青塚古墳出土石棺及
び石室破片の意義一..... 9
熊本県教育庁 福田 匡朗
 - ・ 令和5年度の企画展・パネルセッション.....13

2024・3・31

研 究 紀 要

第 16 集

2022・3・31

熊本県立装飾古墳館

目次

- ・ 装飾古墳の葬送儀礼に関する一考察―附 熊本県装飾古墳一
覧―…………… 1
- ・ 装飾古墳館 坂口圭太郎
- ・ 新発見の線刻壁画―香川県観音寺市所在青塚古墳出土石棺及
び石室破片の意義―…………… 9
- ・ 熊本県教育庁 福田 匡朗
- ・ 令和 5 年度の企画展・パネルセッション……………13

装飾古墳の葬送儀礼に関する一考察

-附 熊本県内装飾古墳一覧-

装飾古墳館 坂口 圭太郎・村上 光治

1 はじめに

装飾古墳とは「なんらかの意匠をもって、石室や石棺に線刻や彩色を施しているもの」と定義づけられている。装飾古墳の研究の第一人者である小林行雄氏が提唱した装飾古墳の分類は、この本質を理解するうえで最も重要であり、その考えのもと装飾古墳の研究が進められている。

大正時代に京都帝国大学が熊本県内にある装飾古墳の現地調査を実施し最も古いとされる石棺系装飾古墳は4世紀末頃に発生したと考えられている。その特徴は、石棺に直弧文や円文などの装飾を浮彫または線刻で表現したものである。

大正時代に京都帝国大学による装飾古墳の調査により全国で知られるようになった装飾古墳は、その発生について議論がなされている。現在全国に700基余りが確認されている。今回は、平成28年に研究紀要第14集で報告した全国の装飾古墳一覧(中間報告)以降に調査収集したデータを見直す中で、閉塞石に描かれた装飾について考察する。

2 古墳における閉塞

弥生時代後期以降になると、墳丘をもつ墓が日本各地で造立されている。この中で前方後円墳と呼ばれる鍵穴形をした日本独自の墳形をもつ墓が造られた時代を古墳時代と定めている。

更に、埋葬形態が変化する中期以降、横穴式石室と呼ばれる構造が古墳に取り入れられると閉塞(へいそく)が必要となってくる、併せて横穴墓が日本各地に出現すると、閉塞することは埋葬にとって重要な意味を持つようになる。つまり追葬するために、一度閉じた「黄泉の国」への扉を開けることとなる

これまで装飾古墳の分類を考えるなか、石棺系装飾古墳における上蓋の装飾や横穴式石室における玄室奥壁の彩色など、装飾位置と文様の意味などについて検討を加えてきたが、この閉塞石に描かれた装飾の意味について次章で考えていきたい。

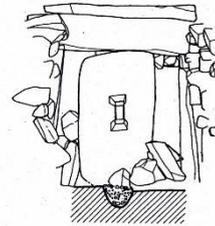
No.	県	古墳名称	所在地	時期	墳形等	埋葬施設	装飾方法	装飾表現
1	熊 本 市	国越古墳	宇城市不知火町	6c後	前方後円墳	横穴式石室	浮彫	門
2		古城8号横穴墓	熊本市古城町	6c後	横穴	横穴墓	彩色	不明
3		古城16号横穴墓	熊本市古城町	6c後	横穴	横穴墓	線刻	井状の線刻
4		古城39号横穴墓	熊本市古城町	6c後	横穴	横穴墓	線刻	『火守』の線刻
5		つつじヶ丘C-3号横穴墓	熊本市古城町	7c	横穴	横穴墓	線刻	平行線
6		つつじヶ丘C-5号横穴墓	熊本市古城町	7c	横穴	横穴墓	線刻	板石に井桁状の格子文
7		牛頸2号横穴	熊本市城南町	6c	横穴	横穴墓	線刻	方形区画文
8	島 根 県	鏡北廻古墳	松江市	7c	方墳	横穴式石室	浮彫	門
9		向山1号墳	松江市	6c末~7c初	方墳	横穴式石室	浮彫	門
10		下の空古墳	松江市	6c末~7c	不明	横穴式石室	浮彫	門
11		林8号墳(岩穴平古墳)	松江市	6c~7c初	方墳	横穴式石室	浮彫	門

表1 閉塞石に描かれた装飾一覧(全国)

2 閉塞石に描かれた装飾文様

表1は、全国における装飾古墳及び装飾横穴墓のなかで、閉塞石に装飾文様があると報告されているものを一覧とした表である。そもそも閉塞石(板)の多くは失われている場合が多く、この表をもって全容を語ることは適切ではないので、あくまで傾向を考察するに留めたい。

右の図1は宇城市にある国越古墳の閉塞石である。横穴式石室の羨道入り口を閉塞するために使用されており、外面に門(かんぬき)状の浮彫を装飾している。この門は実用のためではなく、墓室へ向かう羨道を塞ぐ扉を意識して装飾していると考えられる。



0 2m

図1 国越古墳 閉塞石

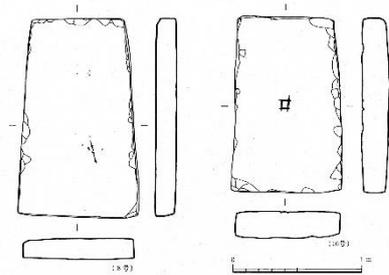


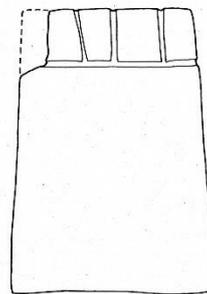
図2 古城横穴墓 閉塞石

左の図2は熊本市にある古城横穴墓群で発見された閉塞石である。左の8号墓では中央に朱で文様が描かれている。右の16号墓では線刻で四角が彫り込まれており、報告では盾の把手とされているが、そもそも盾の意味を装飾に込めて使うとすれば、裏側を見せるのは不自然であることから、この文様は門を表現していると考えられる。

図3は熊本市の牛頸2号横穴墓の閉塞石である。この装飾は上部に方形の区画を設けており、形状から靫(ゆぎ)を表していると考えられる。横穴墓の入口を塞ぐ石を靫に見立てており、破邪の意味を込めているのであろう。

島根県では、表1にあるように4例報告があり、いずれも横穴式石室の閉塞石に門を表現した装飾を線刻で施している。

このように、閉塞石を扉と見立てることで、墓室への空間を閉ざすという封じ込めのための閉塞ではなく、現生と黄泉の国を繋ぐ扉の概念を込めたものと考えられ、このような例が一定数存在する。



0 50cm

図3 牛頸横穴墓 閉塞石

3 まとめ

装飾古墳館では開館以来装飾古墳の調査研究を続けてきている。平成7年(1995年)の【全国の装飾古墳1】宮崎県の装飾古墳地下式と横穴墓を皮切りに、全国の装飾古墳の企画展を開催してきた。これらの企画展に伴う調査研究に加え平成28年度に各県へ照会をかけ、平成30年(2018年)に全国の装飾古墳一覧(中間報告)をまとめてきた。それらの基礎資料を再考する中で装飾古墳や装飾横穴墓の閉塞石に描かれた装飾文様について、今回考察を加えた。今後も閉塞石の装飾について、更なる調査研究が必要であろう。

以上、今回の考察を終えるが、附けたりとして熊本県内の装飾古墳一覧を掲載する。装飾古墳館では平成24年(2012年)に県内の装飾古墳の数を検討しガイドブックで紹介している。その後に新発見の装飾古墳もあり、今回新たに装飾古墳館として再検討した一覧である。

【参考文献】

濱田耕作ほか 1917 『肥後に於ける装飾ある古墳』, 京都帝国大学

濱田耕作ほか 1919 『九州に於ける装飾ある古墳』, 京都帝国大学

小林行雄 1964 『装飾古墳』, 平凡社

高木正文編 1984 「熊本県装飾古墳総合調査報告」熊本県教育委員会 熊本県文化財調査報告第68集

※本考察の図は全て熊本県装飾古墳総合調査報告より転載

表2 熊本県内装飾古墳一覧

熊本県内の装飾古墳一覧 作成者 坂口圭太郎・村上光治 2024年

主 No.	枝 No.	名前	所在地	(古墳時代)	築造エリア	種別	埋葬施設	装飾の 分類	装飾の技 法	装飾の種類
1		四ツ山古墳	荒尾市大島	後期	丘陵部	古墳	横穴式石室	壁画系	彩色	円文
2		三ノ宮古墳	荒尾市平井	後期	丘陵部	古墳	横穴式石室カ	壁画系	彩色	円文、山形文カ
3		大原9号墳	玉名市岱明町野口	後期	丘陵部	古墳	箱式石棺	石棺系	線刻	舟、家屋、星力
4		大坊古墳	玉名市玉名	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	壁画系	彩色	円文、連続三角文
5		永安寺東古墳	玉名市玉名	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	壁画系	彩色	円文、連続三角文、舟、馬、太刀
6		永安寺西古墳	玉名市玉名	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	壁画系	線刻	円文、矛(後世の追刻の可能性あり)
7		馬出古墳	玉名市玉名	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	壁画系	線刻	円文、連続三角文
8		経塚古墳	玉名市天水町部田見	前期末	丘陵部	古墳	舟形石棺	石棺系	線刻	ひし形(長方形)区画文
9		塚坊主古墳	玉名郡和水町瀬川	後期初頭	丘陵部	古墳	横穴式石室	石障系	彩色	連続三角文
10		江田六観音古墳	玉名郡和水町江田	後期終	丘陵部	古墳	横穴式石室	壁画系	彩色	文様不明
11		臼塚古墳	山鹿市臼塚	後期	丘陵部	古墳	横穴式石室	石障系	彩色	円文、連続三角文、人
12		チブサン古墳	山鹿市城	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	壁画系	彩色	円文、同心円文、連続三角文、人、家屋文カ、刀カ
13		オブサン古墳	山鹿市城	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	壁画系	彩色・線刻	不明、連続三角文(彩色)
14		馬塚古墳	山鹿市鬼天神	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	壁画系	彩色・線刻	連続三角文
15		弁慶ガ穴古墳	山鹿市熊入	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	壁画系	彩色・線刻	円文、同心円文、連続三角文、舟、馬、水鳥、人物、靴
16		御霊塚古墳	山鹿市鹿本町津袋	後期終	丘陵部	古墳	横穴式石室	壁画系	彩色	靴、円文
17		持松塚原古墳	山鹿市鹿央町持松	中期	丘陵部	古墳	家形石棺	石棺系	線刻	長方形区画文
18		持松3号石棺	山鹿市鹿央町持松	中期	丘陵部	石棺	家形石棺	石棺系	線刻	長方形区画文
19		浦大間4号石棺	山鹿市鹿央町千田	中期	丘陵部	古墳	家形石棺	石棺系	線刻	長方形区画文
20		袈裟尾高塚古墳	菊池市袈裟尾	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	石障系	線刻	連続三角文
21		上御倉古墳	阿蘇市一の宮町手野	中期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	壁画系	彩色	不明、人物
22		石立石棺	合志市合生	中期	丘陵部	石棺	家形石棺	石棺系	線刻	連続三角文
23		横山古墳	熊本市北区植木町有泉	後期初頭	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	石障系	彩色	同心円文、連続三角文、双脚輪状文、蕨手文
24		石川山4号墳	熊本市北区植木町石川	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	壁画系	線刻	木の葉文、家屋文
25		釜尾古墳	熊本市北区釜尾町	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	石障系	彩色	同心円文、連続三角文、双脚輪状文
26		稲荷山古墳	熊本市北区打越町	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	石障系	彩色	円文、同心円文、連続三角文
27		富ノ尾1号墳	熊本市西区池田	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	石障系	彩色	円文、三角文(消失)
28		千金甲1号墳	熊本市西区小島	中期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	石障系	彩色・線刻	同心円文、ひし形文、靴
29		千金甲3号墳	熊本市西区小島	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	石障系	線刻	同心円文、靴、太刀
30		坂本古墳	熊本市南区城南町板野	中期	丘陵部	古墳	横穴式石室カ	石障系	線刻	同心円文
31		甚九郎山古墳	熊本市南区城南町沈目	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室カ	不明	彩色	円文カ
32		石之室古墳	熊本市南区城南町塚原	中期	丘陵先端部	古墳	家形石棺	石棺系	線刻	斜格子状文

33		馬水孤塚古墳	上益城郡益城町	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	壁画系	彩色	双脚輪状文カ
34		井寺古墳	上益城郡嘉島町	中期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	石障系	彩色・線刻	直弧文、円文(鏡カ)
35		剣原2号墳	上益城郡嘉島町北甘木	中期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	石障系	彩色・線刻	連続三角文 ひし形文
36		今城大家古墳	上益城郡唯野町滝川	後期	丘陵部	古墳	横穴式石室	壁画系	彩色	円文、盾、太刀カ、人物カ
37		四十八塚古墳(中郡古墳)	上益城郡美里町中郡	中期末	丘陵部	古墳	石棺	石棺系	彩色・線刻	円文
38		潤野古墳	宇土市立岡町	中期	丘陵部	古墳	家形石棺	石棺系	線刻	円文
39		晚免古墳	宇土市立岡町	中期	丘陵部	古墳	家形石棺	石棺系	線刻	長方形区画文(蓋)
40		宇土城石垣の古墳石材	宇土市神馬町	後期	不明	不明	不明	不明	線刻	舟、水鳥、木の葉文、海獸カ
41		梅崎古墳	宇土市笹原町	後期	丘陵部	古墳	横穴式石室	壁画系	線刻	舟
42		城塚古墳	宇土市城塚町	後期	丘陵部	古墳	横穴式石室	不明	線刻	不明
43		東畑古墳	宇土市恵塚町	後期カ	丘陵部	古墳	横穴式石室	壁画系	線刻	鍬直文、不明
44		仮又古墳	宇土市恵塚町	後期	丘陵部	古墳	横穴式石室	壁画系	線刻	舟、木の葉文
45		椿原古墳	宇土市椿原町	後期終	丘陵部	古墳	横穴式石室	壁画系	線刻	格子文、舟、矢カ、
46		ヤンボン塚古墳	宇土市上綱田町	中期	丘陵部	古墳	横穴式石室	石障系	線刻	円文、舟(県内で最古カ)
47		三拾町板碑用石障材	宇土市三拾町	中期	不明	不明	不明	石障系	線刻	直弧文
48		宇賀岳古墳	宇城市松柳町大字松橋	後期	丘陵頂上	古墳	横穴式石室	壁画系	彩色	円文、連続三角文
49		鴨籠古墳	宇城市不知火町長崎	中期末	丘陵先端部	古墳	竪穴式石槨	石棺系	線刻	直弧文、同心円文(鏡カ)、長方形区画文
50		不知火塚原1号墳	宇城市不知火町高良	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	壁画系	線刻	舟、木の葉文、斜格子文、動物カ、
51		国越古墳	宇城市不知火町長崎	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	石障系	彩色・線刻	鍵ノ手文(直弧文)、格子文、方形区画文
52		桂原古墳1号墳	宇城市不知火町長崎	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	壁画系	線刻	舟
53		桂原古墳2号墳	宇城市不知火町長崎	後期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	壁画系	線刻	舟
54		鬼の岩屋古墳	宇城市不知火町永尾	後期	丘陵部	古墳	横穴式石室	壁画系	線刻	舟
55		小田良古墳	宇城市三角町中村	中期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	石障系	線刻	同心円文、盾、靴
56		長砂連古墳	上天草市大矢野町長砂連	中期	島嶼	古墳	横穴式石室	石障系	線刻	直弧文
57		広浦古墳	上天草市大矢野町千束	中期	島嶼	古墳	横穴式石室	石障系	線刻	円文、刀子、太刀、短甲、弓
58		大戸鼻北古墳	上天草市松島町阿村	中期	島嶼	古墳	横穴式石室	石障系	線刻	円文、
59		大戸鼻南古墳	上天草市松島町阿村	中期	島嶼	古墳	石棺	石棺系	線刻	同心円文
60		大戸鼻石棺	上天草市松島町阿村	中期	島嶼	古墳	箱式石棺	石棺系	線刻	円文
61		大野村石棺	八代郡氷川町大野	中期	丘陵部	不明	舟形石棺	石棺系	線刻	方形区画文
62		竜北高塚古墳	八代郡氷川町高塚	中期	丘陵先端部	古墳	家形石棺	石棺系	線刻	方形区画文(蓋) 円文(見)
63		大王山3号墳	八代郡氷川町早尾	前期	丘陵先端部	古墳	家形石棺	石棺系	線刻	長方形区画文
64		門前2号墳	八代市岡町	中期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室カ	石障系	線刻	同心円文
65		大鼠蔵尾張宮古墳	八代市鼠蔵町	中期	島嶼	古墳	横穴式石室	石障系	線刻	円文
66		大鼠蔵東麓1号墳	八代市鼠蔵町	中期前	島嶼	古墳	横穴式石室	石障系	線刻	同心円文、弓、靴、短甲、太刀
67		大鼠蔵東北麓2号墳	八代市鼠蔵町	中期	島嶼	古墳	横穴式石室	石障系	線刻	同心円文
68		大鼠蔵西北麓2号墳	八代市鼠蔵町	中期	島嶼	古墳	横穴式石室	石障系	線刻	同心円文
69		小鼠蔵1号墳	八代市鼠蔵町	中期	島嶼	古墳	横穴式石室	石障系	線刻	同心円文
70		小鼠蔵3号墳	八代市鼠蔵町	中期	島嶼	古墳	箱式石棺	石棺系	線刻	円文
71		五反田古墳	八代市敷川内町	中期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	石障系	線刻	円文
72		長迫古墳	八代市日奈久大坪町	中期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	石障系	線刻	同心円文

73		田川内1号墳	八代市日奈久新田町	中期	丘陵先端部	古墳	横穴式石室	石障系	線刻	同心円文
74		田川内2号墳	八代市日奈久新田町	中期	丘陵先端部	古墳	箱式石棺	石棺系	線刻	同心円文
75		田川内3号墳	八代市日奈久新田町	中期	丘陵先端部	古墳	箱式石棺	石棺系	線刻	同心円文
76		竹ノ内古墳	八代市日奈久竹ノ内町	中期	丘陵先端部	古墳	箱式石棺	石棺系	線刻	同心円文
77	1	今村岩の下Ⅰ-1号横穴墓	玉名郡南関町大字今	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	連続三角文・ゴンドラ形死床
77	2	今村岩の下Ⅱ-3号横穴墓	玉名郡南関町大字今	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	不明。飾縁が家課形を呈す
77	3	今村岩の下Ⅱ-7号横穴墓	玉名郡南関町大字今	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	円文カ
77	4	今村岩の下Ⅲ-2号横穴墓	玉名郡南関町大字今	中期終	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	連続三角文
78	1	石貴穴観音1号横穴墓	玉名市大字石貴	中期終	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	円文
78	2	石貴穴観音2号横穴墓	玉名市大字石貴	中期終	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	円文・千手観音・墓室に屋根上の装飾
78	3	石貴穴観音3号横穴墓	玉名市大字石貴	中期終	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	墓室にゴンドラ状の装飾
79	1	石貴ナギノ6号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	円文・同心円文・連続三角文
79	2	石貴ナギノ8号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	円文・同心円文・連続三角文、太刀、石屋形状に装飾
79	3	石貴ナギノ9号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	円文・連続三角文・石屋形状に装飾
79	4	石貴ナギノ12号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	円文・連続三角文・石屋形状に装飾
79	5	石貴ナギノ16号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	円文
79	6	石貴ナギノ17号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	円文・連続三角文・石屋形状に装飾
79	7	石貴ナギノ19号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	石屋形状に装飾
79	8	石貴ナギノ28号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	円文
79	9	石貴ナギノ29号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	円文・墓室にゴンドラ状の装飾
79	10	石貴ナギノ30号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	連続三角文・墓室にゴンドラ状の装飾
79	11	石貴ナギノ37号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	円文・三角文(×状に表現)
79	12	石貴ナギノ39号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	連続三角文
79	13	石貴ナギノ40号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	連続三角文
79	14	石貴ナギノ43号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	円文・L字形カ
79	15	石貴ナギノ45号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	同心円文・山形文(三角カ)・墓室にゴンドラ状の装飾
80	1	石貴古城Ⅰ-7号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	鋸歯文、不明(家屋カ)
80	2	石貴古城Ⅰ-16号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	墓室にゴンドラ状の装飾
80	3	石貴古城Ⅰ-26号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	樹木カ
80	4	石貴古城Ⅱ-3号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	植物カ・劔カ
80	5	石貴古城Ⅱ-13号横穴墓	玉名市大字石貴	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	舟・人物
81	1	原3号横穴墓	玉名市大字富尾	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	人物・樹木カ・家屋カ

81	2	原7号横穴墓	玉名市大字富尾	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	連続三角文(飾り縁)・円文(墓室)
81	3	原10号横穴墓	玉名市大字富尾	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	墓室にゴンドラ状の装飾
81	4	原12号横穴墓	玉名市大字富尾	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	連続三角文・石屋形状に装飾
81	5	原13号横穴墓	玉名市大字富尾	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	連続三角文・石屋形状に装飾
81	6	原15号横穴墓	玉名市大字富尾	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	石屋形状に装飾
82	1	横晶6号横穴墓	玉名市大字青木	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	円文
82	2	横晶8号横穴墓	玉名市大字青木	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	円文
82	3	横晶10号横穴墓	玉名市大字青木	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	同心円文
83	1	城白間2号横穴墓	玉名市大字溝上	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	舟(ゴンドラ)・不明
83	2	城白間3号横穴墓	玉名市大字溝上	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	方形文(白色)・墓室にゴンドラ状の装飾
83	3	城白間4号横穴墓	玉名市大字溝上	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	墓室にゴンドラ状と石屋形状の装飾
84		田崎1号横穴墓	玉名市大字田崎	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	同心円文
85	1	田中城下横穴墓群 I群	和水町和仁	後期カ	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	菱形文(三角文)
85	2	田中城下横穴墓群 II群	和水町和仁	後期カ	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	家屋 棟木カ
86	1	長力1号横穴墓	玉名郡和水町瀬川	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	円文・連続三角文
86	2	北原3号横穴墓	玉名郡和水町瀬川	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	不明(動物カ)
87	1	小原浦田1号横穴墓	山鹿市小原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	円文カ
87	2	小原浦田2号横穴墓	山鹿市小原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	人物・馬
87	3	小原浦田3号横穴墓	山鹿市小原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	人物
87	4	小原浦田5号横穴墓	山鹿市小原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	円文
88	1	小原大塚13号横穴墓	山鹿市小原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	墓室にゴンドラ状の装飾
88	2	小原大塚39号横穴墓	山鹿市小原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	人物・鞆・舟(ゴンドラ)
88	3	小原大塚41号横穴墓	山鹿市小原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	人物・鞆・舟(ゴンドラ)
88	4	小原大塚51号横穴墓	山鹿市小原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	同心円文カ
88	5	小原大塚53号横穴墓	山鹿市小原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	寄棟妻入りの装飾※宮崎県にも同様の装飾
88	6	小原大塚54号横穴墓	山鹿市小原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	寄棟妻入りの装飾※宮崎県にも同様の装飾
88	7	小原大塚55号横穴墓	山鹿市小原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	寄棟妻入りの装飾※宮崎県にも同様の装飾
88	8	小原大塚75号横穴墓	山鹿市小原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	墓室にゴンドラ状の装飾
88	9	小原大塚91号横穴墓	山鹿市小原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	不明
88	10	小原大塚93号横穴墓	山鹿市小原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	墓室にゴンドラ状の装飾
88	11	小原大塚101号横穴墓	山鹿市小原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	不明
89	1	長岩41号横穴墓	山鹿市志々岐	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	鞆
89	2	長岩46号横穴墓	山鹿市志々岐	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	舟(ゴンドラ)
89	3	長岩47又は48号横穴墓	山鹿市志々岐	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	人物
89	4	長岩49号横穴墓	山鹿市志々岐	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系		
89	5	長岩52号横穴墓	山鹿市志々岐	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	人物・馬・鞆

89	6	長岩 55 号横穴墓	山鹿市志々岐	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系		
89	7	長岩 56 号横穴墓	山鹿市志々岐	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系		
89	8	長岩 91 号横穴墓	山鹿市志々岐	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	連続三角文
89	9	長岩 92 号横穴墓	山鹿市志々岐	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	盾
89	10	長岩 101 号横穴墓	山鹿市志々岐	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	人物・弓・鞆・舟(ゴンドラ)
89	11	長岩 108 号横穴墓	山鹿市志々岐	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	人物・盾(あるいは鞆)・馬
89	12	長岩 109 号横穴墓	山鹿市志々岐	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	盾
90	1	岩原 I-14 号横穴墓	山鹿市鹿央町岩原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	墓室にゴンドラ状の装飾
90	2	岩原 I-15 号横穴墓	山鹿市鹿央町岩原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	連続三角文
90	3	岩原 I-23 号横穴墓	山鹿市鹿央町岩原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	不明
90	4	岩原 I-32 号横穴墓	山鹿市鹿央町岩原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	鞆
90	5	岩原 I-38 号横穴墓	山鹿市鹿央町岩原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	円文カ
90	6	岩原 I-39 号横穴墓	山鹿市鹿央町岩原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	不明(円文カ)
90	7	岩原 IV-3 号横穴墓	山鹿市鹿央町岩原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	不明
90	8	岩原 V-6-6 号横穴墓	山鹿市鹿央町岩原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	円文・鞆
91	1	桜ノ上 I-1 号横穴墓	山鹿市鹿央町岩原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	f 字状文・同心円文
91	2	桜ノ上 I-2 号横穴墓	山鹿市鹿央町岩原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	同心円文
91	3	桜ノ上 I-4 号横穴墓	山鹿市鹿央町岩原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	不明
91	4	桜ノ上 I-5 号横穴墓	山鹿市鹿央町岩原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	不明
91	5	桜ノ上 I-6 号横穴墓	山鹿市鹿央町岩原	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	不明
92	1	鍋田 6 号横穴墓	山鹿市鍋田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	連続三角文カ
92	2	鍋田 7 号横穴墓	山鹿市鍋田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	弓
92	3	鍋田 8 号横穴墓	山鹿市鍋田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	人物・鞆・盾・弓・剣カ・鞘
92	4	鍋田 12 号横穴墓	山鹿市鍋田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	鞆・盾・鞘
92	5	鍋田 13 号横穴墓	山鹿市鍋田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	不明	不明
92	6	鍋田 14 号横穴墓	山鹿市鍋田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	鞆
92	7	鍋田 21 号横穴墓	山鹿市鍋田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	鞆
92	8	鍋田 26b 号横穴墓	山鹿市鍋田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	水鳥カ
92	9	鍋田 26d 号横穴墓	山鹿市鍋田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	人物
92	10	鍋田 27 号横穴墓	山鹿市鍋田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	人物・鞆・盾・弓・剣カ・鞘・馬カ・刀子
92	11	鍋田 33 号横穴墓	山鹿市鍋田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	人物カ・琴カ
92	12	鍋田 46 号横穴墓	山鹿市鍋田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	鞆
92	13	鍋田 49 号横穴墓	山鹿市鍋田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	円文・連続三角文・鞆
92	14	鍋田 50 号横穴墓	山鹿市鍋田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	連続三角文

92	1 5	鍋田 52 号横穴墓	山鹿市鍋田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	連続三角文
92	1 6	鍋田 53 号横穴墓	山鹿市鍋田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	連続三角文
93	1	付城 48 号横穴墓	山鹿市城	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	盾カ
93	2	付城 67 号横穴墓	山鹿市城	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	連続三角文
93	3	付城 72 号横穴墓	山鹿市城	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	同心円文・連続三角文
94	1	城 20 号横穴墓	山鹿市城	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	人物・盾
94	2	城 21 号横穴墓	山鹿市城	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	盾・劔
95		湯の口 175 号横穴墓	山鹿市大字蒲生	後期?	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	不明	不明
96		瀬戸口 49-c 号横穴墓	菊池市七城町瀬戸口	後期?	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色(赤)	船カ・馬カ
97	1	加茂(宮穴)17 号横穴墓	熊本市植木町豊田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	櫓べそカ
97	2	加茂(宮穴)22 号横穴墓	熊本市植木町豊田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	櫓べそカ
98		山口 8 号横穴墓	熊本市植木町大字岩野	後期?	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	
99	1	つつじヶ丘B-1 号横穴墓	熊本市黒髪	後期?	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	斜め平行線
99	2	つつじヶ丘C-1 号横穴墓	熊本市黒髪	後期?	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	意匠不明
99	3	つつじヶ丘C-3 号横穴墓	熊本市黒髪	後期?	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	平行線
99	4	つつじヶ丘C-4 号横穴墓	熊本市黒髪	後期?	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	斜め平行線 一部斜格子状を呈する。
99	5	つつじヶ丘C-5 号横穴墓	熊本市黒髪	後期?	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	板石に井桁状の格子文
99	6	つつじヶ丘D-7 号横穴墓	熊本市黒髪	後期?	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	平行線
100	1	古城 8 号横穴墓	熊本市古城町	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	彩色	不明
100	2	古城 16 号横穴墓	熊本市古城町	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	井状の線刻
100	3	古城 39 号横穴墓	熊本市古城町	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	『火守』の線刻
100	4	古城 46 号横穴墓	熊本市古城町	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	斜格子文
101		御所横穴墓群	熊本市城南町東阿高	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	円文カ
102		牛頭 2 号横穴	熊本市城南町	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	方形区画文
103	1	大村 4 号横穴墓	人吉市城本町	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	盾・劔・劔カ
103	2	大村 5 号横穴墓	人吉市城本町	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	劔・劔
103	3	大村 7 号横穴墓	人吉市城本町	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	劔・馬・連続三角文
103	4	大村 11 号横穴墓	人吉市城本町	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	劔・劔・刀子・三日月状文
103	5	大村 13 号横穴墓	人吉市城本町	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	盾・同心円文・刀子カ
103	6	大村 14 号横穴墓	人吉市城本町	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	劔・盾・円文
103	7	大村 15b 号横穴墓	人吉市城本町	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	円文・劔・弓・
104		中原横穴墓群 47 号墓	人吉市中神町	後期?	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	連続三角文
105	1	京カ峰 1 号横穴墓	球磨郡陰御裳毛田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻・彩色	円文・盾・劔・劔
105	2	京カ峰 2 号横穴墓	球磨郡陰御裳毛田	後期	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	不明	不明
106		小原 4 号横穴墓	球磨郡相良村柳瀬	後期?	台地崖面	横穴墓	横穴墓	横穴系	線刻	円文

新発見の線刻壁画

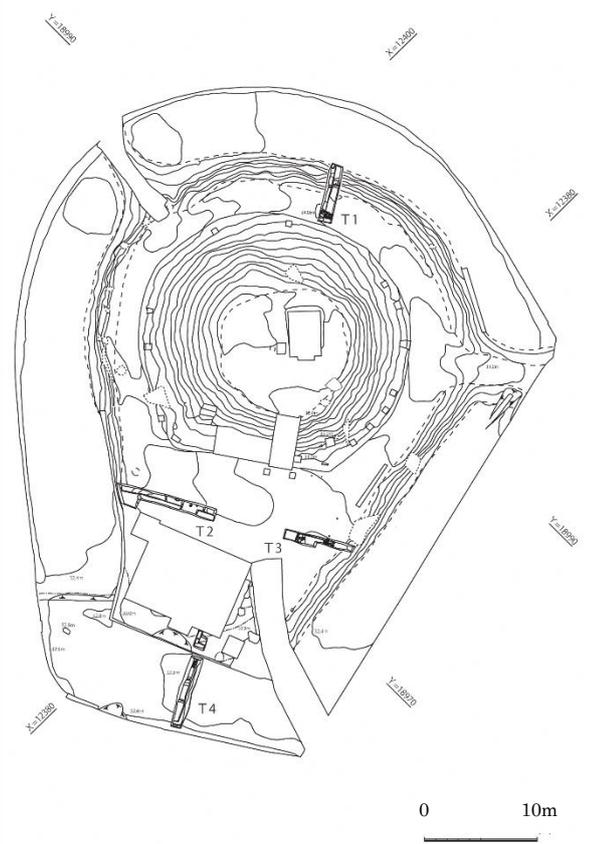
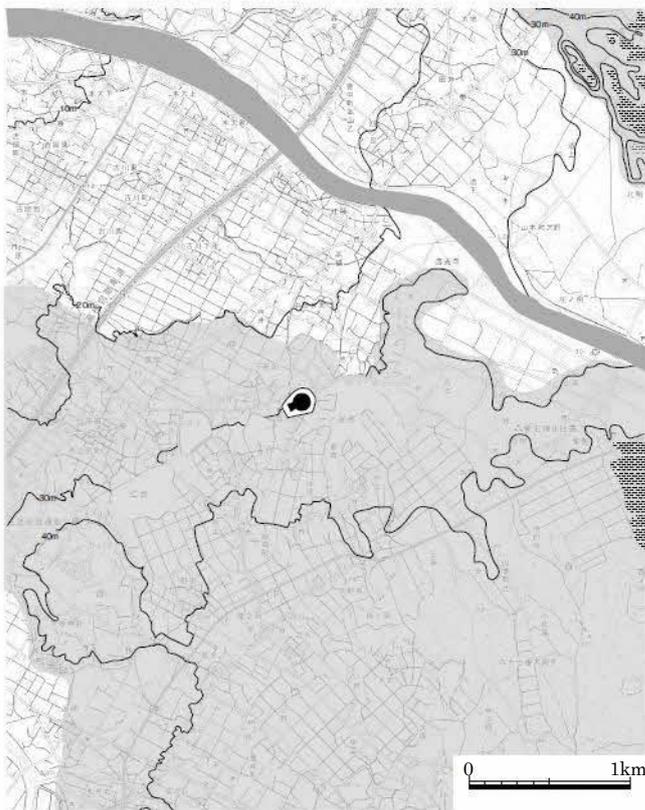
—香川県観音寺市所在青塚古墳出土石棺及び石室破片の意義—

熊本県教育庁 福田 匡朗

はじめに

香川県観音寺市に所在する観音寺市指定史跡青塚古墳は、5世紀中葉から後葉にかけて築造されたとされる、全長44.4mの帆立貝式前方後円墳であり、三豊平野南半部の低丘陵地上標高30m前後に位置している。周濠、葺石、埴輪列を有する古墳時代中期のこの地域の有力な首長墓と考えられる（観音寺市2019）。

筆者は、令和5年（2023年）10月に青塚古墳出土遺物の資料調査を行った。平成28年（2016年）8月に実施された確認調査トレンチから出土した石棺破片及び石室破片に新発見の線刻壁画を確認したため、その意義を報告したい。



左 図2 観音寺市指定史跡青塚古墳の詳細位置図

右 図3 観音寺市指定史跡青塚古墳の測量図（いずれも観音寺市2019を一部改編）

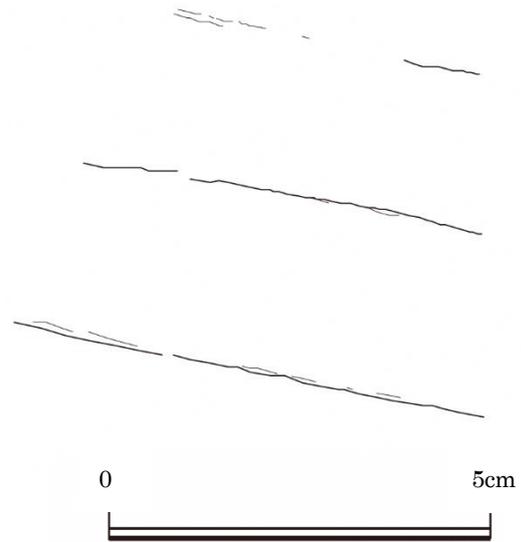
1. 青塚古墳出土石棺及び石室破片の線刻について

本資料については、石棺破片の外面の合わせ口に三ヶ所、線刻が施された箇所があることを確認した（線刻①）また、石室破片には九ヶ所、線刻が施された箇所があることを確認した（線刻②）。

線刻① 石材は阿蘇溶結凝灰岩製。幅が約 1mm の条線を 3 本以上線刻しているが、何を表現しているかは不明である。



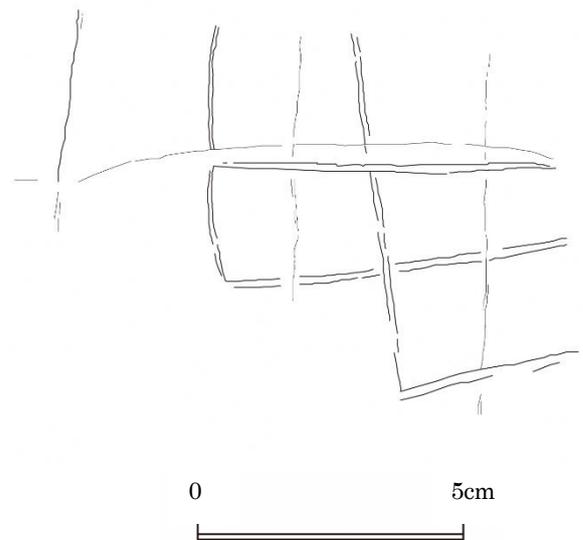
写真1 線刻①



線刻② 石材は非阿蘇溶結凝灰岩製。安山岩製か。幅が約 2mm の条線を 4 本以上線刻し、幅が約 1mm の条線を 5 本以上線刻しており、格子文を構成していると解釈した。



写真2 線刻②



2. 青塚古墳出土石棺及び石室破片の解釈について

本報告で紹介した線刻①については破片資料であり全体像が不明であるものの、線刻②については格子文の存在が注目される。香川県内においては、善通寺市の岡11号墳（時期不明）、岡古墳群夫婦岩1号墳（時期不明）でも確認されている。特に、後者は天井に描かれた壁画、天井壁画と呼ぶべきものであり、現状では、古墳時代の日本列島で40数例しか確認されていない中での1つとなる（福田2024）。

なお、線刻②については、5世紀中葉から後葉にかけて築造された古墳から出土したものである。築造時期が明らかな格子文としては、全国的に古い時期のものであり、この時期の横穴式石室に対する線刻壁画ならば、極めて稀有といえよう。

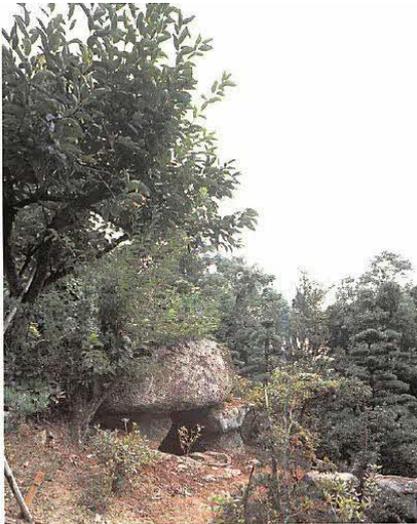


写真3

岡古墳群夫婦岩1号墳 墳丘全景

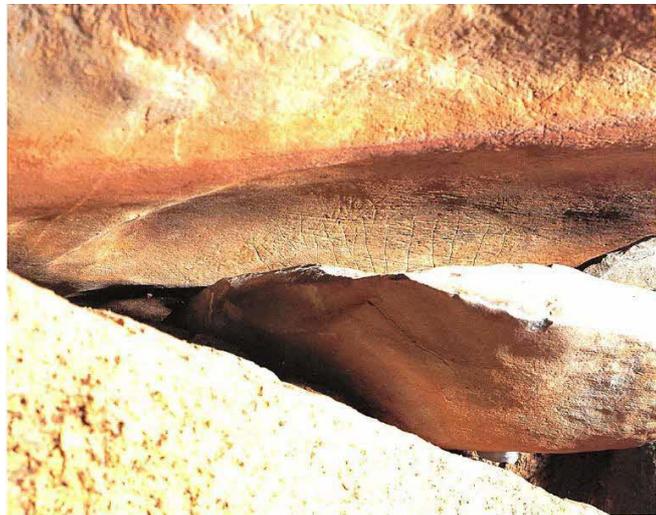


写真4

岡古墳群夫婦岩1号墳 後室天井 格子文

(いずれも熊本県立装飾古墳館 1999)

3. おわりに

香川県では、これまで帰属時期が不明な装飾古墳が多く、時期が明らかな古墳は6世紀後半から7世紀にかけてのものが多かった。今回の報告により、香川県の装飾古墳が5世紀代に遡ることを確認でき、さらには横穴式石室に線刻された可能性を指摘した。

また、従来から阿蘇溶結凝灰岩製の石棺を有することは確認されていたものの、新たに見つかった石棺（片）に線刻を有することも新たに確認できた。同じく阿蘇溶結凝灰岩製の石棺出土で知られる香川県高松市の長崎鼻古墳、観音寺市の丸山古墳とはやや異なるものの、青塚古墳には内陸の河川の水運を掌握した被葬者像が想

定でき、阿蘇溶結凝灰岩製の石棺の稀少性を再評価するものだ。

最後に、本報告で紹介した石棺破片及び石室破片に新発見された線刻壁画が、今後、当該地域の首長墓である青塚古墳の更なる価値付けに寄与することを望む。

謝辞

本資料の掲載について、下記の方々・諸機関には、現地確認及び資料実見の際、大変、お世話になりました。末筆ではありますが、深く感謝申し上げます。

井出耕二、信里芳紀、丸本啓貴、観音寺市教育委員会事務局文化振興課（五十音順・敬称略）

文献

観音寺市教育委員会 2019 『市指定史跡 青塚古墳確認調査概報』 香川

熊本県立装飾古墳館 1998 『平成 10 年度後期企画展 佐賀県・長崎県の装飾古墳 全国の装飾古墳シリーズ 4』 熊本

熊本県立装飾古墳館 1999 『平成 11 年度後期企画展 中国・四国地方の装飾古墳 全国の装飾古墳シリーズ 5』 熊本

古墳壁画の保存活用に関する検討会装飾古墳ワーキンググループ 2013 『古墳壁画の保存活用に関する検討会装飾古墳ワーキンググループ報告書』 東京

坂口圭太郎・嶋田博紀・村上光治「全国の装飾古墳一覧（中間報告）」 2018 『熊本県立装飾古墳館研究紀要 14』 熊本

福田匡朗 2024 「日本における古墳時代天井壁画からの考察」『宮本一夫先生退職記念論文集 東アジア考古学の新たなる地平（下）』宮本一夫先生退職記念事業会 福岡



令和6年 2月3日①～5月19日②

熊本県立装飾古墳館 1階企画展示室
9:30～17:15 (入館は16:45まで)
休館日(月曜日及び月曜日が祝日の場合、その翌日)を除く

3月20日 パネルセッション開催



津波の歴史
寛政4年(1792年)の雲仙噴火による眉山噴爆に伴う大津波は、対馬の天明津波、熊本平野沿岸部及び、特に狭い川では、津波の高さ20mを超え、人的被害や家屋の壊滅など甚大な被害をもたらしました。熊本県内には、調査者の所蔵や世帯への所蔵、津波の痕跡を所蔵する碑石など、この津波に関連する津波碑が各地に点在しています。熊本県立装飾古墳館では、県内の研究者による「津波碑」の調査報告の成果を基に、令和3年度(2021年度)から「津波碑」を後世に継承すべく、3D画像等の作成を行っています。今回の展示では、この津波碑の3D画像を紹介するとともに、関連する資料(古文書等)の展示解説を通して、寛政の津波碑を後世に伝えていくことの重要性を紹介します。

熊本県立装飾古墳館
〒861-0561 熊本県山鹿市熊原第3085番地
Tel: 0968-36-2151 Fax: 0968-36-2126

開館時間: 午前9時30分～午後5時15分
休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日) 年中無休
観覧料: 一般430(500)円 大学生260(300)円
障害者観覧料 障がい者同伴の方の観覧料は無料です



令和5年度企画展Ⅳ パネルセッション
津波碑を語る
～寛政の津波碑から読み解く先人達の想い～

寛政4年(1792年)の雲仙噴火による眉山噴爆に伴う大津波は、有明海沿岸部において甚大な被害をもたらしました。この災害の歴史を語りつづけた、当時の人々は供養塔や教訓碑、墓等を建立しました。この津波の到達点を示す墳石も現代に伝わっています。

このセッションでは、津波碑について、県内在住の研究者による事例報告とパネルセッションを行います。参加者の皆様と共に「津波碑」を後世に伝えていくことの大切さを考えていきます。

令和6年 3月20日(水) 13:30～15:40

参加無料
事前申し込み 定員80名

開催場所: 熊本県立装飾古墳館 集開学習室
申込先: 熊本県立装飾古墳館
申込方法: 令和6年(2024年)2月14日(水) 9:30より電話またはFAXにて受付
申込・問い合わせ先: 熊本県立装飾古墳館

熊本県立装飾古墳館
〒861-0561 熊本県山鹿市熊原第3085番地
Tel: 0968-36-2151 Fax: 0968-36-2126
開館時間: 9:30～17:15 休館日: 月曜日(祝日の場合は翌日)

パネラー: 前川清一氏, 美濃口雅明氏, 松本博幸氏
コーディネーター: 坂口圭太郎氏

【パネラー】

前川清一氏
1949年 熊本県玉名市生まれ。1974年に国士舘大学文学部史学地理学科(考古日本史学)卒業。
1974年から熊本県立高校教諭。
1987年から2004年にかけて県文化課勤務。2005年から2007年、県立教育センター教科開発室長。2008年から2009年、県文化課の課長補佐。2016年から県文化財保護審議会委員を務める。
長年にわたり県文化財職員として、文化財保護行政に尽力されている。
また熊本県における金石文研究の第一人者であり、熊本金石文研究会を主催。主な役職として玉名市文化財保護審議会会長や熊本県文化財保護審議会委員。

美濃口雅明氏

1961年 熊本県山鹿市生まれ。1985年 明治大学文学部史学地理学科考古学専攻課程卒業
1990年 熊本市入庁 以降、専門職員として埋蔵文化財発掘調査等、市内文化財の保護と活用に取り組む。
主な調査事例に「つじヶ丘横穴群」・「水源地遺跡」・「吉町遺跡」・「熊本城跡遺跡群」がある。現在は「西原戦争遺跡」の調査や「熊本市出原地区南戦争資料館」の学芸部門を担当している。
研究テーマは、古墳時代の横穴墓、中近世の土器・陶磁器、近世大名墓。

松本博幸氏

1976年 熊本県玉名市生まれ。1999年 別府大学文学部史学科(考古学)卒業。2001年 天草町教育委員会生涯学習課学芸員。2006年市庁合併により天草市教育委員会文化課勤務。2009年 天草市立美玉キリシタン館へ異動。館の建て替えに伴い展示制作及び国書文の保存展示環境改善を担当。2014年 天草市観光文化課文化課へ異動。現職。近年は、伝統的保存方法と現代文化財保存への応用、天草地域の石造物の石材・年代・変遷等に注目して調査を行っている。
主な役職として崇城大学文学部非常勤講師(博物館資料保存論/2017～2023年)、上天草市歴史資料館運営協議会委員(2024年～)。

【コーディネーター】

坂口圭太郎氏
1964年 熊本県水俣市生まれ。1984年 奈良大学文学部文化財学科(考古学)卒業。1992年 熊本県立装飾古墳館学芸員。1999年から県文化課へ、九州新聞社編集部に係る埋蔵文化財発掘調査及び調査業務に従事。2009年から熊本県立装飾古墳館学芸部長として装飾古墳の保存と公開に尽力。2018年から県文化課へ異動。「農くり井手」の発掘調査や遺跡の保存に尽力。2023年装飾古墳館館長。主な専門・研究分野は日本考古学。主な研究テーマは、装飾古墳の保存環境の確立・伝統的保存手法「ガンゼキ」の活用について。2014年から2016年まで「文化庁装飾古墳ワーキンググループ」及び「みんをまもる博物館」の委員。県日本書院などの大災害から文化財や地域の人々を守るため「寛政の大津波」の調査調査を美濃口氏・松本氏と実施する。主な役職として瀬飯保存検討部会委員。

スケジュール

- 12:45 受付開始
- 13:25 開演式
- 13:29 誓とう(令和6年度豊後地震等、過去の災害でお亡くなりになられた方々へ)
- 13:30 開会
- 主催者挨拶 県立装飾古墳館館長
- 13:35 報告説明 坂口圭太郎氏(コーディネーター)
- 13:45 事例報告
- 13:45～14:05 事例報告①「津波碑から学ぶもの」 前川 清一氏
- 14:05～14:25 事例報告②「考古学で語る津波碑 津波碑を分類する」 美濃口雅明氏
- 14:25～14:45 事例報告③「津波碑の調査調査 天草市近辺に遺る津波碑」 松本 博幸氏
- 14:45～14:50 休憩
- 14:50～15:30 パネルセッション「津波碑を語る 先人が遺したもの」
- 15:30～15:40 質疑応答
- 15:40 閉会

事例報告及びパネルセッションについて

事例報告①
報告者の前川清一氏は、県内における金石文研究の第一人者です。県文化課で長らく文化財の調査保存に取り組んでこられ、現在は熊本県文化財保護審議会の委員や玉名市文化財保護会会長の責務を兼任されています。今回の報告では、「津波碑」に關連している教訓を中心にお話しいただきます。

事例報告②
報告者の美濃口雅明氏は、日本の近世大名墓の研究です。今回は氏が考古学的手法に基づき「津波碑」を分類した意味とそこから導き出される「津波碑」の文化財としての価値づけについて解説いたします。特に本妙寺に残る津波碑について、氏の独自の見解をお話しいただきます。

事例報告③
報告者の松本博幸氏は天草市で長らく文化財調査と保存に携わっています。特に天草市内に残された「津波碑」について、自ら現地へ赴き、発掘調査を続けています。今回は天草市に遺る「津波碑」が建立された後も、今に残る供養の裏面と碑の保存の課題について、自治体の文化財保護執行責任者としての視点をお話しさせていただきます。

パネルセッション

このセッションでは、報告者それぞれの調査研究結果から導き出される、「津波碑」が持つ意義を多面的に捉えます。更に「津波碑」を後世に語り継ぐ重要性を知り、先人たちの想いを参加者と共に考える場とします。

熊本県立装飾古墳館 資料・図書部 編集

玉名市・相水町・山鹿市にある装飾古墳を公開します。専門職員等による解説を聞きながら、菊池川流域に華開いた古墳文化に触れてみませんか。

装飾文様には込められた古代からのメッセージ

熊本県 春の装飾古墳 一斉公開

令和5年度(2023年度) 自治体連携

国史跡 鍋田横穴

令和5年(2023年) 11月4日(土)
午前の部 11:00 開始
午後の部 13:00 開始
※開始時刻に現地集合
※事前申し込み
定員 各回 20名

国史跡 塚坊主古墳

令和5年(2023年) 11月4日(土)
午前の部 11:00 開始
午後の部 13:00 開始
※開始時刻に現地集合
※事前申し込み
定員 各回 20名

横山古墳

令和5年(2023年) 11月4日(土)
11月5日(日)
午前の部 11:00 開始
午後の部 13:00 開始
※開始時刻に現地集合
※事前申し込み
定員 各回 20名

国史跡 石貫穴観音横穴

令和5年(2023年) 11月5日(日)
10:00～16:00
※公開期間のほとんども見学可能
※事前申し込み不要
定員 なし

国史跡 大坊古墳

令和5年(2023年) 11月5日(日)
10:00～16:00
※公開期間のほとんども見学可能
※事前申し込み不要
定員 なし

鍋田横穴・塚坊主古墳・横山古墳の見学には事前申し込みが必要です。電話にてお申し込みください。(先着)

参加費 無料
申込受付開始 2023年10月11日(水)9:30～

☎0968-36-2151
※受付時間:10:00～17:00(受付終了後) 10:00～16:00
熊本県立装飾古墳館 〒861-0561 熊本県山鹿市鹿野町3085
公開に関するお問い合わせは装飾古墳館にお問い合わせします。

主催:山鹿市教育委員会 玉名市教育委員会 相水町教育委員会 熊本県立装飾古墳館 協力:熊本市の森政務課 菊池川流域古代文化研究会

国史跡 鍋田横穴

山鹿市鍋田にある横穴墓群です。27号墓の装飾が有名です。人物、馬、鳥、鹿、馬などが描かれており、日本の装飾様式を代表するものとされています。※観音様は鍋田横穴から国道443号線を挟んだ向かい側にあります。(10分程度)

国史跡 塚坊主古墳

清原古墳群内にある前方後円墳です。横穴式石室の中に石室があり、その外側に赤と白の文と三角文などが描かれています。※観音様は江田山古墳群になります。徒歩にて塚坊主古墳までお越しください。当日は江田山古墳でも見学いただけます。

国史跡 石貫穴観音横穴

玉名市石貫にある横穴墓群です。2号墓の内部に手形跡が彫られていることからこの名が付けられました。入口に赤や白の円文が彩色で装飾された横穴墓が知られています。※距離に徒歩時間をお知らせしております。徒歩にて石貫古墳までお越しください。

国史跡 大坊古墳

玉名市玉名にある前方後円墳です。横穴式石室の中に石室があり、赤・灰色・黒で連続三角文と円文が描かれています。※距離に徒歩時間をお知らせしております。徒歩にて大坊古墳までお越しください。

横山古墳

九州自動車道の建設に伴い、装飾古墳群跡地に移築復元された装飾古墳です。石室形には赤・灰(白)・白で同心円文や双線輪文などが描かれています。※距離に徒歩時間をお知らせいたします。

玉名市・相水町・山鹿市にある装飾古墳を公開します。専門職員等による解説を聞きながら、菊池川流域に華開いた古墳文化に触れてみませんか。

装飾文様には込められた古代からのメッセージ

熊本県 春の装飾古墳 一斉公開

令和5年度(2023年度) 自治体連携

国史跡 オブサン古墳

令和6年(2024年) 3月16日(土)
午前の部 11:00 開始
午後の部 13:00 開始
※開始時刻に現地集合
※事前申し込み
定員 各回 20名

国史跡 塚坊主古墳

令和6年(2024年) 3月17日(日)
午前の部 11:00 開始
午後の部 13:00 開始
※開始時刻に現地集合
※事前申し込み
定員 各回 20名

横山古墳

令和6年(2024年) 3月16日(土)
3月17日(日)
午前の部 11:00 開始
午後の部 13:00 開始
※開始時刻に現地集合
※事前申し込み
定員 各回 20名

国史跡 石貫穴観音横穴

令和6年(2024年) 3月16日(土)
10:00～16:00
※公開期間のほとんども見学可能
※事前申し込み不要
定員 なし

国史跡 大坊古墳

令和6年(2024年) 3月16日(土)
10:00～16:00
※公開期間のほとんども見学可能
※事前申し込み不要
定員 なし

オブサン古墳・塚坊主古墳・横山古墳の見学には事前申し込みが必要です。電話にてお申し込みください。(先着)

参加費 無料
申込受付開始 2024年2月27日(火)9:30～

☎0968-36-2151
※受付時間:10:00～17:00(受付終了後) 10:00～16:00
熊本県立装飾古墳館 〒861-0561 熊本県山鹿市鹿野町3085
公開に関するお問い合わせは装飾古墳館にお問い合わせします。

主催:山鹿市教育委員会 玉名市教育委員会 相水町教育委員会 熊本県立装飾古墳館 協力:熊本市の森政務課 菊池川流域古代文化研究会

国史跡 オブサン古墳

山鹿市山鹿町にある前方後円墳です。石室の一部に彩色、また外側に赤と白の三角文があります。※距離に徒歩時間をお知らせいたします。山鹿市立中央公民館(700m)(30分程度)

国史跡 塚坊主古墳

清原古墳群内にある前方後円墳です。横穴式石室の中に石室があり、その外側に赤と白の文と三角文などが描かれています。※観音様は江田山古墳群になります。徒歩にて塚坊主古墳までお越しください。当日は江田山古墳でも見学いただけます。

国史跡 石貫穴観音横穴

玉名市石貫にある横穴墓群です。2号墓の内部に手形跡が彫られていることからこの名が付けられました。入口に赤や白の円文が彩色で装飾された横穴墓が知られています。※距離に徒歩時間をお知らせしております。徒歩にて石貫古墳までお越しください。

国史跡 大坊古墳

玉名市玉名にある前方後円墳です。横穴式石室の中に石室があり、赤・灰色・黒で連続三角文と円文が描かれています。※距離に徒歩時間をお知らせしております。徒歩にて大坊古墳までお越しください。

横山古墳

九州自動車道の建設に伴い、装飾古墳群跡地に移築復元された装飾古墳です。石室形には赤・灰(白)・白で同心円文や双線輪文などが描かれています。※距離に徒歩時間をお知らせいたします。

研究紀要 第 16 集

編集・発行 熊本県立装飾古墳館
〒861-0561
熊本県山鹿市鹿央町岩原3085番地
電話 0968-36-2151(代)
fax 0968-36-2120
発行日 令和6年(2024年)3月26日

発行者:熊本県立装飾古墳館

所属:教育庁教育総務局文化課

発行年度:令和5年度(2023年度)